



透析だより 2月号



～血液検査データの見かた～

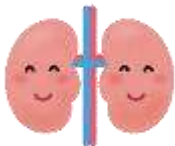


★なぜ、定期の血液検査が必要な？




血液検査からは、透析がうまくいっているか、生活習慣の管理と食事療法などで水分や塩分のコントロールができていないか、健康状態など定期日の血液検査から知ることができます。

自分がどのような透析を受けているかなど自分の状態を知ることは、合併症の防止、QOL（生活の質）の向上にも役立ちます。
透析患者さんが元気に生活するために非常に大事なことです。

★どの項目で何がわかるの？

透析をしている場合の検査数値の望ましい目標値は検査項目によっては、腎臓に問題のない人と同じものもあれば、異なるものもあります。

腎機能	尿素窒素 (BUN) 	体内でたんぱく質が分解されてできる老廃物。たんぱく質のとりすぎや透析不足で高くなり、低いと栄養不足が考えられる。	参考値 50～80mg/d l
	クレアチニン(CRE)	筋肉の代謝産物。 筋肉の豊富な人ほど高く、体格や運動量による個人差がある。 BUNと同様透析不足により高くなる。	参考値 6～18mg/d l
電解質	ナトリウム(Na) 	塩分のとりすぎや体の中の水分不足状態で高くなり、食事がとれないことや体の中に水分が過剰にある状態では低くなる。	基準値 136～145mEq/l
	カリウム (K)	約 90%が腎臓から排泄されるため透析患者では蓄積しやすい。 高 K 血症では四肢のしびれや筋力低下をきたし、重篤な場合は心停止に至ることがある。	基準値 3.5～6.0mEq/l
貧血	赤血球(RBC)	酸素を運搬する。 基準値未満だと貧血が疑われる。	目標値 10～11 g/d l
	ヘモグロビン (Hb) 	赤血球の成分の1つ。 肺で受け取った酸素を全身におくり、二酸化炭素を肺に運ぶ役割をする。	目標値 10～11 g/d l

	ヘマトクリット(Ht)	一定の血液中に含まれる赤血球の割合。	(前後) 目標値 30～33%
栄養	アルブミン(A1b)	食べ物から吸収し、肝臓で作られる。 栄養状態の指標になる。	基準値 3.5～5.0 g/d l
骨代謝	カルシウム(Ca) 	骨の元になる物質。 低値が続くと骨がもろくなる。 高値が続くと骨以外のところに Ca の沈着が起こる。	基準値 8.4～10.0 m g/d l
	リン(P)	骨や筋肉をつくる大事なミネラル。 乳製品に多く含まれている。 乳製品を控えても食事摂取をしっかりとリンが高くなるので、そのときはリンを下げる薬を飲んで調整することが大切である。 高値が続くと関節や血管に石灰化が起こり、心筋梗塞や脳梗塞になる危険がある。	基準値 3.5～6.0 m g/d l
	甲状腺ホルモン (インタクトPTH)	カルシウムを調節するホルモン。 カルシウムを骨から調達する作用があるため、高値が続くと骨がすかすかになってしまう。	基準値 60～180 p g/m l
糖尿病関連	血糖値 	食事療法やインスリンなどの薬物治療が適切かどうかをみる。	一般成人正常値 80～ 100 m g/d l
	グリコアルブミン(GA)	採血までの1か月間(主に直近2週間)前から採血までの平均血糖状態がわかる。	基準値 20.0%未満
肝臓	AST(GOT) 	心筋、肝臓、骨格筋、腎臓に多く存在する酵素でアミノ酸を作る働きをする。 これらの臓器の細胞に異変が起こると数値が上昇する。	基準値 35 IU/L以下
	ALT(GPT)	肝臓の細胞の中にある酵素。 肝臓の細胞の変化で反応する。 肝臓疾患の診断に有効な検査。	基準値 35 IU/L以下

代表的なものを説明しましたが、他にわからないことや疑問があれば気軽にきいてください



～透析液について～



★透析液ってどんなもの？

透析液は、患者様の体液の異常を十分に是正し、副作用のないものでなければなりません。基本的に透析液は以下の条件を満たしている必要があります。

- ・生体から除去したい物質を十分に除去できること。
- ・生体内に不足している物質を補うことができること。
- ・生体内に必要な物質を除去しないこと。
- ・生体内に有害な物質を含まないこと。



★透析液ってどうやって作っているの？

当院の透析液は「リンパック透析剤 TA1」という種類の透析液を使用しています。

リンパックは粉末状になったA剤(主に電解質)と、B剤(重炭酸)と不純物を取り除いたRO水と混合して透析液供給装置で透析液が作製されます。その後、みなさんが使用する透析監視装置へと送られます。



A 剤



B 剤

透析液は正常な血液に近い濃度の電解質を含んでおり、主に次の成分からなります。

「ナトリウム、カリウム、カルシウム、マグネシウム、クロール、炭酸水素（重炭酸）、ブドウ糖」

慢性腎臓病では、血液中のカリウム、マグネシウム、リン濃度が高くなり、カルシウム、重炭酸濃度が低くなってきます。通常、透析液では血液よりカリウム、マグネシウム濃度を低くし、リンは含みません。透析を行う事によってこれらを血液から除去し、カルシウム、重炭酸濃度を高くすることで血液に補給しています。